

平成30年度豊川市水道事業会計補正予算（第1号）

~~第19号議案~~

平成30年度豊川市水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 平成30年度水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（資本的支出の補正）

第2条 予算第4条本文括弧書を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,469,201千円は、減債積立金100,000千円、建設改良積立金120,000千円、過年度分損益勘定留保資金632,567千円、当年度分損益勘定留保資金527,131千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額89,503千円で補てんするものとする。」に改め、資本的支出の予定額を次のとおり補正する。

款 項	支 出		計
	既決予定額	補正予定額	
	千円	千円	千円
1 資本的支出	1,762,055	1,923	1,763,978
3 その他資本的支出	0	1,923	1,923

~~平成31年2月20日提出~~

豊川市長 山 脇 実

平成30年度豊川市水道事業会計補正予算（第1号）に関する説明書

平成30年度豊川市水道事業会計補正予算実施計画

資 本 的 支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本的支出			千円 1,762,055	千円 1,923	千円 1,763,978	
	3 その他 資本的支出		0	1,923	1,923	
		1 その他の支出		0	1,923	1,923

平成30年度豊川市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	447,620
減価償却費	1,098,313
固定資産除却費	43,788
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 253
賞与引当金の増減額 (△は減少)	846
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	225
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,419
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△ 20,880
長期前受金戻入額	△ 368,951
受取利息	△ 3,513
支払利息	53,782
有形固定資産売却損	1
有形固定資産売却益	△ 1
未収金の増減額 (△は増加)	29,744
未払金の増減額 (△は減少)	5,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	285
小計	1,290,252
利息の受取額	3,513
利息の支払額	△ 53,782
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,239,983
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,536,781
有形固定資産の売却による収入	2
国庫補助金等による収入	30,000
国庫補助金等返還による支出	△ 1,923
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	15,718
その他の負担金収入	264,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,228,289
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 258,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 258,753
資金増加額 (又は減少額)	△ 247,059
資金期首残高	3,157,962
資金期末残高	2,910,903

平成30年度豊川市水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（平成31年 3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地		611,250	
ロ 建 物	858,318		
減価償却累計額	<u>△ 520,126</u>	338,192	
ハ 構 築 物	45,886,202		
減価償却累計額	<u>△ 19,912,595</u>	25,973,607	
ニ 機 械 及 び 装 置	5,252,074		
減価償却累計額	<u>△ 3,776,351</u>	1,475,723	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	32,698		
減価償却累計額	<u>△ 29,758</u>	2,940	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	188,614		
減価償却累計額	<u>△ 149,975</u>	38,639	
ト 量 水 器	222,831		
減価償却累計額	<u>△ 108,449</u>	114,382	
チ 建 設 仮 勘 定		<u>36,432</u>	

有形固定資産合計 28,591,165

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権		<u>372</u>	
無形固定資産合計		<u>372</u>	
固定資産合計			28,591,537

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金 2,910,903

(2) 未 収 金	436,054	
貸倒引当金	<u>△ 2,282</u>	433,772
(3) 貯 蔵 品		13,451
(4) その他流動資産		<u>1,000</u>
流動資産合計		<u>3,359,126</u>
資産合計		<u>31,950,663</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>2,217,536</u>	
企業債合計		2,217,536

(2) 引 当 金

イ 退職給付引当金	240,458	
ロ 修繕引当金	<u>183,483</u>	
引当金合計		<u>423,941</u>

固定負債合計 2,641,477

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>260,697</u>	
企業債合計		260,697

(2) 未 払 金 816,673

(3) 前 受 金 17

(4) 引 当 金		
イ 賞 与 引 当 金	22,646	
ロ 法定福利費引当金	<u>4,194</u>	
引 当 金 合 計		26,840
(5) その他流動負債	<u>50,100</u>	
流 動 負 債 合 計		1,154,327
5 繰 延 収 益		
(1) 長 期 前 受 金	16,969,057	
収 益 化 累 計 額	<u>△ 7,523,085</u>	
繰 延 収 益 合 計		<u>9,445,972</u>
負 債 合 計		<u>13,241,776</u>

資 本 の 部

6 資 本 金		14,874,197
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 工 事 負 担 金	1,463,758	
ロ 加 入 金	168,118	
ハ 受 贈 財 産 評 価 額	179,476	
ニ 補 助 金	<u>17,970</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		1,829,322
(2) 利 益 剰 余 金		
イ 減 債 積 立 金	575,217	
ロ 利 益 積 立 金	172	
ハ 建 設 改 良 積 立 金	51,115	

ニ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>1,378,864</u>	
利 益 剰 余 金 合 計		<u>2,005,368</u>
剰 余 金 合 計		<u>3,834,690</u>
資 本 合 計		<u>18,708,887</u>
負 債 資 本 合 計		<u>31,950,663</u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却方法

(1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法（ただし、取替資産については取替法による。）

- ・主な耐用年数

建物	15～38年
構築物	40年
機械及び装置	8～15年
車両及び運搬具	4～5年
工具器具及び備品	5～15年

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、計上額は「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、水道事業会計が負担すべき退職手当の総額としている。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払いに備えるため、当事業年度末における支払い見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金の取り崩し

当事業年度において、退職手当支給のため、退職給付引当金 12,702 千円を取り崩すこととする。

(2) 賞与引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給のため、賞与引当金 21,800 千円を取り崩すこととする。

(3) 法定福利費引当金の取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当支給に係る法定福利費の支払いのため、法定福利費引当金 3,969 千円を取り崩すこととする。

(4) 修繕引当金の取り崩し

当事業年度において、水管橋修繕費の支払いのため、修繕引当金 20,880 千円を取り崩すこととする。

(5) 貸倒引当金の取り崩し

当事業年度において、不納欠損による損失を計上する予定であるため、貸倒引当金 2,535 千円を取り崩すこととする。

2 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当水道事業会計は、水道事業セグメントの単一セグメントであるため、記載を省略している。

平成30年度豊川市水道事業会計補正予算説明書

資 本 的 支 出

款	項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	説 明	
1 資 本 的 支 出				千円 1,762,055	千円 1,923	千円 1,763,978		
	3 そ の 他 資本的支出			0	1,923	1,923		
		1 そ の 他 の 支 出			0	1,923	1,923	
			72 国庫(県) 補助金 返還金			0	1,923	1,923
合 計				1,762,055	1,923	1,763,978		

